

ほうこく

■ 2007年11/11 (日)
 第10回 荒川の恵みと熊谷を考える集い 実施
 (1面にて報告)

主催：熊環連

■ 11/13 (火)
 エコドライブ講習会

講師：伊藤 治 (熊環連事務局)

主催：熊環連

■ 11/21 (水)

出前環境講座「熊谷の自然と環境を考える講座」

講師：高橋孝子 (熊環連事務局)

主催：熊谷市中央公民館

■ 12/23日 (日)

資源回収 収入 8・9月分 37,960円

12月分 23,580円 主催：熊環連

■ 1/27 (日)

河川愛護交流会

出席：栗原・岡里・依田・江守

今回の第14回交流会の下記テーマで行われた。

①みんなで川づくりー地域と行政との連携ー。

②川で楽しむ・川から学ぶ。

③水質と浄化槽。

熊谷からは②分科会代表として新川菜園の村と子供の遊びの森について平秀子氏が報告をした。

詳細は事務局まで

主催：埼玉県

■ 2/21 (木)

大麻生河川敷 火入れ作業 協力

参加：栗原、新井、岩場、岡里、大脇、伊藤

主催：(財)埼玉県生態系保護協会

■ 2/24 (日)

第7回 環境フォーラム・埼玉 (和光市)

参加：栗原、岡里、大脇、江守、伊藤

お知らせ

■ 3/1 (土)

熊谷市市民活動支援センター 開所 熊谷市曙町 5-67

■ 3/23日 (日)

ノーベル平和賞受賞アル・ゴア米国元副大統領の

「不都合な真実」上映会 於：大里生涯学習センターあすねっと

主催：埼玉県 後援：熊環連

■ 熊環連が ～出前します！～

環境講座「エコドライブ」

地球にやさしい車の運転の仕方 教えます。

運転のちょっとした工夫により環境にやさしい運転ができます。

申し込み・お問い合わせは 事務局まで

賛助会員になりました(8/31現在)

田島 道夫 様

会にご賛同いただきありがとうございます。

会員募集

熊環連では、随時、会員を募集しています。

個人会員 年間 1,000円

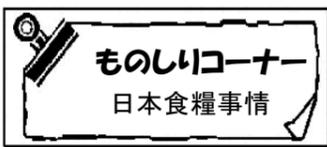
団体会員 年間 2,000円

賛助会員 年間 10,000円

事務局 新井 千明 TEL525-5282

現在の団体会員

熊谷市ムサシトミヨを守る会 / 別府沼を考える会 / 熊谷山草会 / くまがい草保存会 / (財)埼玉県生態系保護協会熊谷支部 / 熊谷南ロータリークラブ / 立正大学 地球にやさしい会 / 藤の仲間



中国製冷凍餃子の問題が明るみになってから、一躍生産地を気にして食品を買う人が多くなっていると聞く。

しかし今、日本の食料自給率は38%しかなくフードマイレージからいうと、アメリカの3倍、ヨーロッパの5倍フランスの9倍も環境負荷を振りまいている。

世界人口は増えつつあり、いずれは東アジア経済が発展し輸入食料も値上がりすることは必然で、日本製原材料は中国と競争できる時代環境になりつつある。

最近築地市場で、中国人による爆買いという言葉が横行している。日本の食糧は安全だと中国人が日本製を買いあさっているのだそうだ。日本人はせいぜい1匹か2匹拾い買いのところを1箱2箱と買い占め、1日多い日で1500万円も買い、香港へ運ぶ。寿司ブームの香港で醤油みりんに至るまで材料の8割が日本製。逆に日本は7割が外国産食料に頼っているなんて少しおかしくないか？

日本人は今こそ日本食(民族食)を見直す時期に来ているのではないか。地産地消こそが食料自給率をあげる最大の解決法。熊谷の野菜や米をもっと食べましょう。船で大量に輸入し大量廃棄される食料は本当に必要なのだろうか。(高橋 孝子)



今年の冬は例年になく厳しい。今年はやりの湯タンポを使ってみた。これがとつてもすぐれもの。朝までぬくぬく心地よく眠れる。ある人が昼間仕事の時も使っていると聞いて一日中使ってみた。昔のエコグッズ、もっとたくさんあるかも・・・。

くまかんれん

第23号 2008年3月6日 発行

熊谷の環境を考える
連絡協議会

事務局 埼玉県熊谷市
上之1774-21
TEL 048-525-5282
FAX 048-522-7097
郵便振替口座
00160-4-578966
事務局長 新井千明



2007年11月11日(日) 第10回 荒川の恵みと熊谷を考える集い 実施

これまでの実施状況

	実施日	参加人数	ゴミ収集量
第1回	1998/10/18	「荒川集い」後周辺	ゴミ拾い
2	1999/11/28	980人	7.2 t
3	2000/11/1	1,417人	9.2 t
4	2001/10/1	1,500人	3.5 t
5	2002/11/1	1,861人	3.1 t
6	2003/10/19	1,813人	7.2 t
7	2004/11/21	***	4.3 t
8	2005/10/31	1,750人	3.0 t
9	2006/11/12	1,670人	3.1 t
10	2007/11/11	2,030人	3.7 t

※ ゴミは、可燃物・不燃物合計数

報告

今回も参加団体数が約60団体、参加者数が2,000名以上登録されて盛大に、事故もなく無事に実施されました。参加された方々、ならびに運営に携わったスタッフの方々、ご苦勞様でした。改めてお礼申し上げます。

当日は天候不順で、前の晩から小雨模様で実行するのが危ぶまれましたが、何とか実施できました。今回実施の結果について特筆すべき点を申し上げて見ますと、一つは参加者の内容で、スポーツ団体の少年達が従来に比べ100名以上増えた点です。団体運営の方々やご家族の方々のご協力なればこそと存じます。二つにはゴミ拾いの後、回収作業にも熊谷祇園会の皆様方が「熊谷市役所美化センター」と共に作業して頂いた点です。今後もこのようなボランティア活動は回を重ねるごとにコラボレーションが進化して行くものと思いました。

伊藤 治 (熊環連事務局)